

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	グローバルビジネス環境論 II	(TGB118)
講義名 (コード)	TGB_グローバルビジネス環境論 II_B	(TGB118B)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数 2
授業担当者	小川 一幸	時間数 30
成績評価教員	小川 一幸	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	様々な国の仲間と国際社会を考える。異なる文化背景を持つクラスメイトの意見を聞きながら、国際社会で起きている事象を多角的な視点で捉え、自分の考えを述べる能力を養う。
全体の内容と概要	後期は、前期のマーケティングトピックスのプレゼンをベースに、5名程度のグループワークを行う。ベーシックなマーケティング手法を活用し、商品の販売企画を作成及びプレゼンテーションを
授業時間外の学修	日々変化をするグローバルビジネスの現状把握を適宜行う。
履修上の注意事項等	グループワークでの作業分担に偏りがないように指導する。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容	
		前半	後半
1	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・ネーミングとパッケージ・製品のライフサイクル	グループワーク（役割・作業分担）
2	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・ブランド戦略・マーケティングと価格	グループワーク（ブレインストーミング）
3	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・臨界点（ブレイクポイント）・顧客満足（CS）	グループワーク（テーマ設定）
4	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・マーケティングと価格	グループワーク（草稿1）
5	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・臨界点（ブレイクポイント）	グループワーク（草稿2）
6	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・顧客満足（CS）	グループワーク（草稿3）
7	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・流通組織とチャネル	グループワーク（清書PC1） /PowerPoint or Keynote
8	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・メーカーの営業組織と卸売、小売の関係	グループワーク（清書PC1） /PowerPoint or Keynote
9	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・小売店の特徴と今後	グループワーク（清書PC2） /PowerPoint or Keynote
10	授業前半の座学部分を、後半のグループワークに活用する。	・AIDMAとプロモーション戦略	グループワーク（清書PC3） /PowerPoint or Keynote
11	授業前半の座学部分を、後半のプレゼンに活用する。	・広告戦略	グループワーク プレゼンテーション1
12	授業前半の座学部分を、後半のプレゼンに活用する。	・メディア・ミックス	グループワーク プレゼンテーション2
13	授業前半の座学部分を、後半のプレゼンに活用する。	・商品のライフサイクル・SP広告	グループワーク プレゼンテーション3
14	授業前半の座学部分を、後半のプレゼンに活用する。	・期末試験	期末試験
15	授業前半の座学部分を、後半のプレゼンに活用する。	・グローバルビジネスのまとめ・期末試験返却	プレゼンテーション総評

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	・オリジナルプリント教材
参考文献・資料等	・新聞や関連新書のタイムリーなマーケティング関連教材を適宜参考
備考	